



## はな きゅうこん たね 花はなぜ球根からできるものと、種からできるものがあるの

### きゅうこん う はな はや さ 球根で植えれば花が早く咲く

はる あき えんげいてん くさばな たね きゅうこん あき う  
春と秋、園芸店には草花の種とともに、いろいろな球根がならべられます。秋に売られるのは、翌年の春に咲くチューリップ、スイセン、クロッカスなどです。春に売られる球根は、その年の夏や秋には花が咲きます。

きゅうこん う しょくぶつ たね  
球根で植える植物には、種がないのかというと、そうではありません。たいがいのは、種もできます。しかし、種から育てると、花が咲くのに大変な年月がかかるのです。たとえば、チューリップを種から育てると、花が咲くのに5年もかかります。球根でもふえることができる草花は、早く花を咲かせるために、球根をうえているのです。

### たね くさばな 種をまく草花

いっぽう たね う くさばな あき よくねん はる はる とし なつ  
一方、種で売られている草花は、秋にまくものは翌年の春に、春にまくものはその年の夏や秋に、花が咲きます。中には、ジキタリスのように、1年以上かかるものもあります。種で売られている草花のほとんどは、球根などできず、種でしかふやすことができないのです。

### かた いろいろなふえ方

しょくぶつ きほんてき たね きゅうこん  
植物は、基本的には種でふえます。しかし、「球根」でもふえることができるものがあるように、特別な方法でふえる植物があります。ヤマノイモのように「むかご」でふえるもの、ジャガイモのように「種いも(塊茎)」でふえるものなどがそうです。また、コヒルガオのように、ちぎれた根などからふえるものもあります。(監修・中山 周平)

